

前号にも掲載致しましたが、6月23日(木)当NPOが主催した『電柱のないまちづくり』が出版1周年を迎えたことを受け、記念セミナーを行いました。

■東日本大震災を受けて 高田昇理事長

今回の東日本大震災で多大な被害を受けました。被害の中でも原発の問題は大きな原因です。原発問題を深刻化した大きな要因は、外部からの電源が原発から遮断されたことです。外部電源が遮断された原因は鉄塔が折れたことです。過去に鉄塔全てを強化する案が出されましたが、コストがかかりすぎるといって実現されませんでした。電力会社は創電という面で考えが甘かったのではないのでしょうか。

今回理事長が配布した被災地の写真には津波で流され、建物や電柱全てがなくなっていました。もし電線類地中化されていたら・・・なぜ今まで日本の地中化が進まなかったのかということを実感しました。



■震災と電線類地中化の関係性について 関西学院大学教授 室崎益輝先生

■東日本大震災の被害状況

今回の震災では高さ30m、時速100kmの津波が来ました。それと同時に火災だけでも阪神淡路大震災の規模の被害を受けました。経済被害は25兆円ともいわれ、阪神淡路大震災が10兆円だったの比べると被害の大きさがわかります。今回のような巨大震災に見舞われた時大事なのは防災より減災を意識することが重要です。

■減災に一番必要な事

今回のような巨大震災に見舞われた時大事なのは防災より減災を意識することが重要です。減災が出来る街づくりをするには以下の4つの事を考えなくてはなりません。

- ① 予防医学や公衆衛生を重視した街づくり
- ② 地域密着型、コミュニティ主導の街づくり
- ③ ソフトが根付いたハード中心の街づくり
- ④ CBO、NPO、SBOが連帯する街づくり

ここで電線類地中化が関わってくるのが③です。ハードとは街の耐震強度等で電線類地中化などを指します。電線を地中に埋めることで破損率が低くなり、電柱が倒れ緊急自動車を遮る心配もなくなります。

その他電線類地中化をすることで景観が向上し、自分の街に愛着を、コミュニティが向上し、街全体が防災に減災に協力的になります。実際京都や奈良など伝統がある街では火災等が少ないというデータが出ています。これは家一軒一軒を強くするのではなく、愛着のある自分の街全体を強くしようとした結果です。

最後に先生は「私は防災の面で電線類地中化は9割賛成です。しかし、地中化した電線が破損した時、復旧する時間がかかるなどまだまだ課題はあります。」と述べられました。電線類地中化が防災に強いということ全国に広めていくとともに、電線類地中化のデメリットを改善していく必要があると感じました。

✂ [エッセイをお寄せください。] ✂

皆さんが日本の電柱・電線社会の現状について感じられていることをエッセイとして綴り、お送りください。

本会報の【随想】欄に掲載させていただきます。

1000～1500文字、簡単な自己紹介(お仕事、住所等)とポートレート(顔写真)を添えて下さい。送付先はE-Mail: info@NPONPC.org です。投稿をお待ちしています。

NPO法人電線のない街づくり支援ネットワーク事務局 井上、志熊、根井、森山

「私達」が住む日本の空を、「私達」が美しい空へ変えましょう!

美空～MISORA～

第36号

発行日:2011年7月28日(木)

発行者:NPO法人電線のない街づくり支援ネットワーク

理事長 高田 昇

東日本大震災の被災地における電柱および架空線の被災状況

理事兼事務局長 井上利一

先月、被災地である、宮城県気仙沼市と岩手県陸前高田市を訪れた。どちらも、地震と津波で甚大な被害を受けたところだ。実際に現地立つとそこは、想像を絶する光景が広がっていた。もとあった街は根こそぎなくなり、あるのは、瓦礫と打ち上げられた船と折れた電柱…。



▲気仙沼市内



▲陸前高田市 (電柱は震災後に建柱)

■電柱と架空線の被災状況

津波が押し寄せたところの電柱は軒並みなぎ倒されていた。地震によっても、真ん中から真つ二つに折れているものも多かった。写真に見える電柱は、震災後に建注したものがほとんど。地上に露出している、電柱や架空線は、津波や地震には、ひとたまりもないということが、実感できました。また、一部、倒壊して、トランスがひっくり返っているものもあり、PCBの漏えい等の2次汚染が心配です。



■最後に

現状では、電気の復旧を急ぐために、新たな電柱が建柱され、復興の象徴のようになっていますが、将来のことを考えると、電線類地中化を検討すべきだと思います。地震や津波などの災害にも強いインフラ整備が求められるのではないのでしょうか?

NPO法人電線のない街づくり支援ネットワーク事務局 (株)ジオリズム内 根井 井上

Mail: info@NPONPC.org, <http://nponpc.org>

Tel: 072-653-5811 Fax: 072-653-5833

【随想】 《安全で快適な美しい商店街をめざして》（2）

前回は引き続き、当 NPO 会員の東康七さんが投票して下さったエッセイです。今回は電線類地中化をどういう場で活かすのかを考察して頂きました。

■ 一体なぜ、わが国の都市に無電柱化が普及しなかったのか

平成 20 年 7 月 3 日東京都心で、貴 NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワークの主催で「第 6 回美しい街づくりセミナー」を開催。講師東大大学院総合文化研究科松原隆一郎教授の講演「失われた景観—戦後日本が築いたもの」では、諸外国をはじめ、わが国の電柱地中化問題・課題が歴史的多角的に論じられた。私は幸いに WEB サイトでこの講演会を知って出席し、大変貴重な知識を得ることができた。講演会の要旨は以下の通りであった。

■ “ヨーロッパ諸都市の場合、電力供給が始まった時点ですでに都市の形態が成熟しており、そこに配電する場合には、景観に配慮することがことさらに強調され、当然のごとく地中化された。

わが国の明治以来の都市計画においては、水道・ガス・下水は地下に配するにしても、電線や電話線まで地中化するという発想はなかった。戦後焦土と化した都市の建て直しが焦眉の課題であり、すでに存在する美観を架空電線が汚すといった考えがなかった。

70 年代、景観に関する「サスティナビリティ」がキーワードとなる。「まち歩き」がブームになり、下町の何気ない風景にも人々の視線は向く。

都市景観という国民所得には表われない社会共有財産に対して人々の関心が深まる。

80 年代後半以降の急激な円高により、海外旅行者が急増。電線地中化問題は、景観という公共性の維持のために一部事業者だけでなく、地域住民、電線管理者、道路管理者が三位一体となって費用負担しなければならない。”

■ 電柱地中化により安全で快適な美しい商店街を目指して取組む

(1) わが国には約 3300 万の電柱が林立する『電柱大国』である

NPO 無電柱ネットメールマガジンによる情報提供や貴法人編著『電柱のないまちづくり』により、わが国は電柱大国である実態や各地の無電柱化への取り組みを学ぶことができた。



これをもとに東京都下の各自治体や経済諸団体に対して、「まちづくり推進と連動して、電柱・電線のない安全で快適な美しい商店街の実現にむけて、国・都・商店街・事業者・市民等が連携・協働して着手する」よう政策提言を行った。（中小企業診断協会編平成 20 年地域中小企業政策提言集）

(2) 衰退が続く地域コミュニティの核：商店街の再生

戦後わが国は車社会化を進めた結果、徒歩サイズで形成された地域商店街の通路を車が横断し、「ふれあい、ぬくもり、賑わう交流の場、街並み」などが次々と壊されていった。魅力と賑わいを失い集客力が低下した近隣商店街は、少子高齢化社会を迎えた今日、地域コミュニティの核、生活拠点として、景観面及び防災面の役割・機能の再生・強化が益々期待されている。しかしながら多くの商店街では、分離された歩道に電柱が林立して歩行者の安全を損ない、電線が蜘蛛の巣状に頭上に張り巡らされ、また雑多な屋外広告・標識類の氾濫は街並みの景観を著しく阻害し、来街者の支持を失っている。目下、小金井市において快適な街並み・景観の向上、災害に強い商店街を目指して、地域住民・事業者・行政等と協働して、商店街の活性化を中心にまちおこしに取り組んでいる次第です。

高田理事長さんをはじめ会員の皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



プロフィール

- 出筆者 東 康七（あずまこうしち）・現住所：東京都小金井市
- ・北九州市小倉区出身、1955 年都銀（現三井住友銀行）就職、流通業界をえて独立、A z e x マーケティング研究所代表 経営コンサルタント（中小企業診断士）
- ・（社）中小企業診断協会東京支部三多摩支会理事、東京都中小企業振興公社登録専門家、一般社団法人経営支援多摩代表理事、NPO 法人シニア S O H O 小金井副代表理事
- ・専門分野：商店経営・商店街活性化診断支援、まちおこしアドバイザー 他

ご自身の経験や当 NPO のセミナーで学ばれたことから、その後どのように電線類地中化を広めるかを述べて頂きました。地域コミュニティの向上のためにも電線類地中化は大事な取り組みですね。エッセイありがとうございました。とても勉強になりました。

その他会員様のエッセイもお待ちしております。よろしくお願いいたします。

当 NPO ではメールマガジンも配信しており、電線地中化に関するコラム・情報を月 2 回お楽しみいただけます！ぜひこちらにもご登録ください！
→ <http://www.mag2.com/m/0000266000.html>

当 NPO の HP (ホームページ) でも、最新情報を詳しく載せていきますので、ぜひこちらへもアクセスしてください！
<http://nponpc.org/top.aspx>

